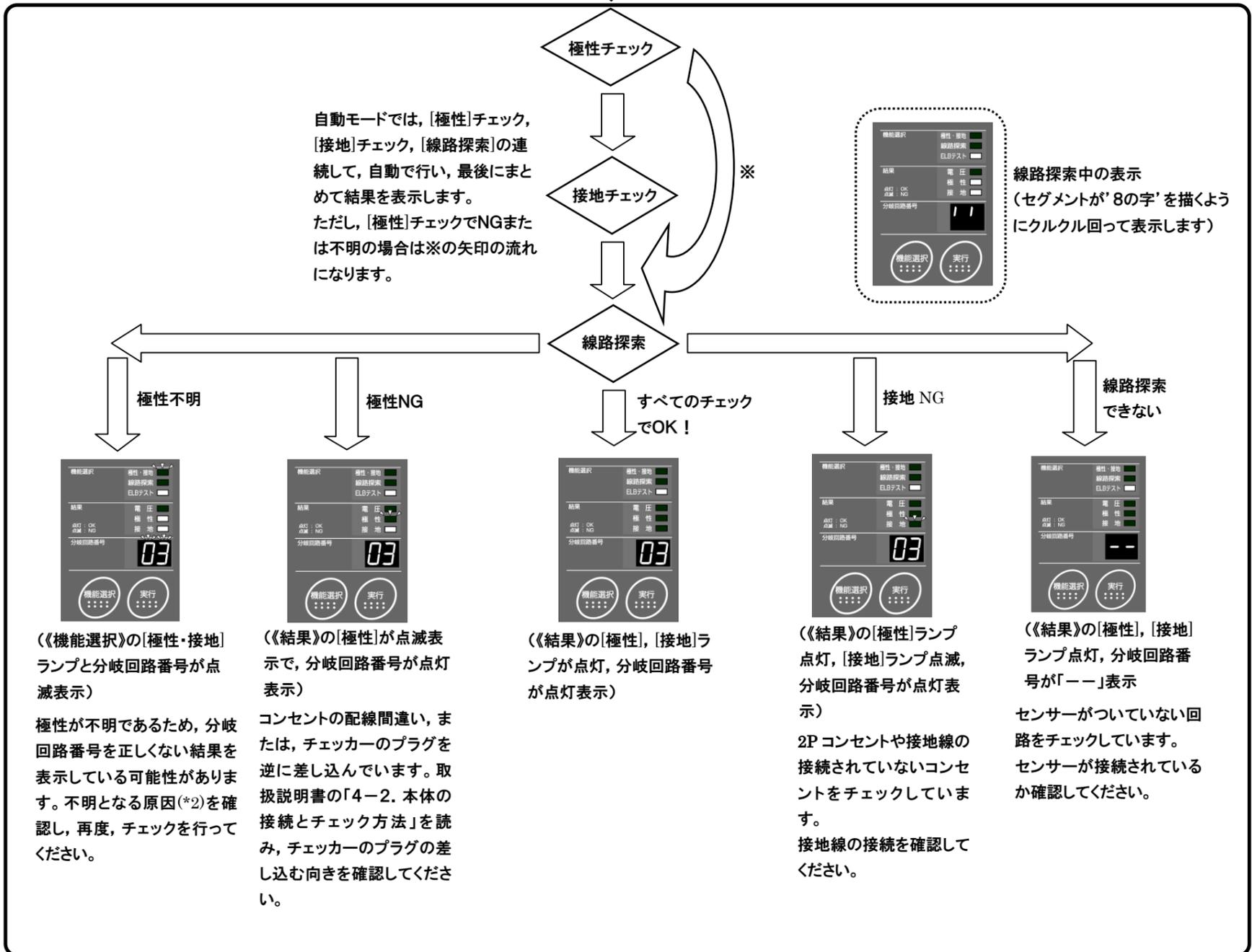
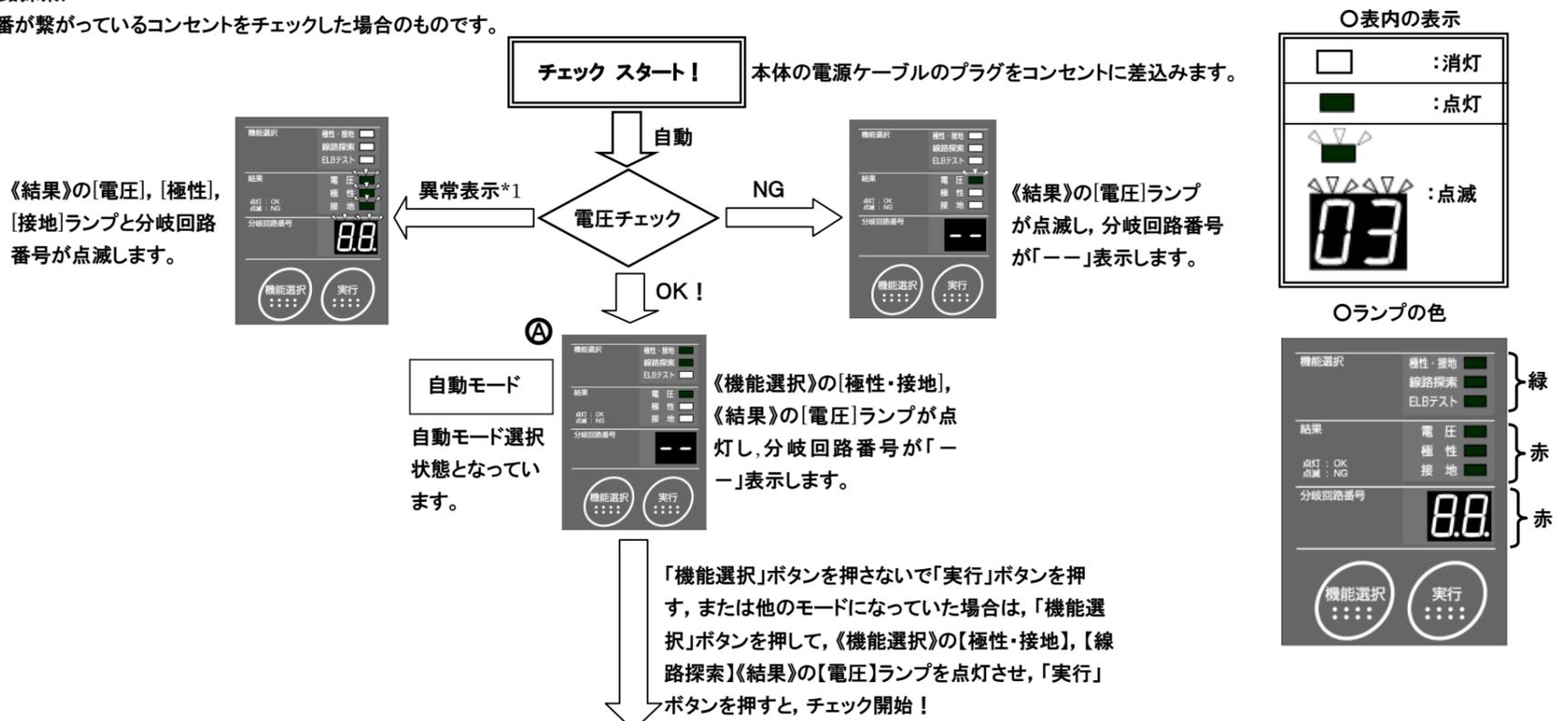


電気工事チェッカー(らくらくチェッカー) 操作フロー

1. 自動モード(極性・接地と線路探索)

下記例は、センサー番号3番が繋がっているコンセントをチェックした場合のものです。



自動モードで再度チェックする場合は, プラグを抜かなくても, 再度「実行」ボタンを押すことで, チェックを行うことができます。また, 他のモードでチェックを行いたい場合は, 次のページの④の状態になっていますので, 「機能選択」ボタンを押し, 機能を切替えてチェックを行うことができます。詳しくは次のページをお読みください。

- *1「異常表示」となる原因として下記が考えられます。
- ・電源周波数が仕様範囲を超えている。
 - ・電源ノイズが大きく, 本体内部で周波数判定ができない。
- *2 自動モードでのチェック結果で, 極性が不明となる原因として下記が考えられます。
- ・センサーの取付け向き間違い。
 - ・本体を手を持っていない。(机の上などに置いている)
 - ・本体を手を持っている測定者が, 接地から絶縁されている。

2. 手動モード1(極性・接地のみ), 手動モード2(線路探索のみ), 手動モード3(ELBテスト)

